

第 7 6 回国民体育大会 県民運動基本計画

この計画は、第 7 6 回国民体育大会（以下「大会」という。）の開催に向けた全県的な機運の盛り上げを図るとともに、大会開催時及び大会開催後も引き続きスポーツのもたらす様々な効果が人や地域に及ぶよう、第 7 6 回国民体育大会県民運動基本方針の目的達成に向けて、それぞれの主体の役割や運動の進め方及び開催後の目標などを示すものとする。

1. 県民運動の目的

県民運動は、県民一人ひとりが自発的、積極的に参加し、みんなで支え合うことで郷土の一体感の醸成につなげ、あわせて来訪者を温かく迎え入れる大会の実現を目指すものとする。また、多様な県民運動の機会を創出することにより、大会後においても活力に満ちた元気な三重づくりにつなげていくことを目的とする。

2. 実施主体とその役割

- (1) 県準備委員会は、全県的な計画や取組を定め、この運動の普及、啓発活動を行うとともに、市町や各種団体等と連携し、全県域における運動を展開する。
- (2) 市町は、地域の特性に応じた計画や取組を定め、地域における普及、啓発活動を行うとともに、地域住民や各種団体等と協力し、市町における運動を展開する。
- (3) 関係機関・団体、学校、企業、NPO、ボランティア団体等の様々な主体は、それぞれの活動の中で、その特徴を活かした県民運動を企画し、取組を行うとともに、県及び市町並びに各主体の県民運動に参加、協力する。

3. 県民運動の進め方

(1) 県民力を結集した県民運動

みんなの力で開催機運を盛り上げ、大会を支えるためにも、県民一人ひとりの参加により、人と人、地域と地域がつながる一体感を感じ、その喜びや充実感を分かち合うことのできる活動を進める。

(想定する主な取組例)

- ・ 総合開・閉会式の運営や式典演技等への参加
- ・ 炬火イベントやその他国体関連イベント運営への参加
- ・ 国体募金活動や企業協賛活動への参加 など

(2) 創意工夫を凝らした県民運動

県民の皆さんや来訪者の方々の思い出に残るイベントの企画や、共に取り組むことで互いにつながりを感じ合える活動を展開する。また、参加者自身が健康や体力づくりへの関心やスポーツ活動への参加意欲を高めるきっかけとなる活動を展開する。

このためにも各主体が連携、協力し、それぞれの持つ特徴や創意工夫を活かした活動を進める。

(想定する主な取組例)

- ・デモンストレーションスポーツの開催
- ・スポーツ体験会や健康作り教室の開催
- ・国体ソングやダンスの制作、普及 など

(3) おもてなしの心を形にする県民運動

美しい自然、豊かな伝統や文化、豊富な海や山の幸など、地域が持つ資源や特色を再認識しながら、これら三重の魅力を発信する活動を展開するとともに、来訪者をおもてなしの心で温かく迎え、交流の輪が広がる活動を進める。

(想定する主な取組例)

- ・ホームページやSNS等を利用した開催イベントや観光情報の発信
- ・ご当地グルメや地域食材による特産品の開発、販売、ふるまい
- ・手作りによる歓迎のぼりや広告物の制作、掲出 など

4. 開催後の目標

(1) 引き継がれる県民運動

県内各地で展開される県民運動への参加や活動を通じて、大会開催後も、県、市町並びに各主体が連携、協力しながら、人と人、地域と地域の絆づくりやおもてなしの心を形にする活動が引き継がれることを目指すこととする。

(2) スポーツを通じた地域の活性化

大会の開催を契機に、県民の皆さんがスポーツの価値や意義を実感し、スポーツにさまざまな関わりを持つことによって、大会後も生涯にわたってスポーツを親しむことができるよう、健康で活力に満ちた元気な三重を目指すこととする。

5. 主な推進スケジュール（予定）

○5年前（平成28年度）

- ・開催内定イベントの開催

- ・ 県民運動の取組に関する調査、検討
- ・ 県及び市町並びに各主体との具体的取組に関する調整
- 4年前（平成29年度）
 - ・ 県民運動アクションプログラム（仮称）の策定、配布
 - ・ 県、市町等における各種県民運動の取組の企画・実施（以降、継続） など
- 3年前（平成30年度）
 - ・ 大会を支える募金、企業協賛の開始（以降、継続）
 - ・ 決定イベントの開催
 - ・ 広報ボランティアの募集（以降、継続） など
- 2年前（平成31年度）
 - ・ 大会運営ボランティアの募集、研修（以降、継続） など
- 1年前（平成32年度）
 - ・ リハーサル大会における県民運動の実施並びに参加
- 開催年（平成33年度）
 - ・ 大会における県民運動の実施並びに参加
- 開催後（平成34年度）～
 - ・ 県民や各主体による県民運動の発展、普及